富士宮歩こう会 鉄道沿線シリーズ

御殿場線19駅ウオーク

▷第1ステージ◁

富士宮歩こう会では「鉄道沿線シリーズ」と銘打って、過去に身延線39ウオーク、天浜線姫街道ウオークを行っている。今年からシリーズ第3弾として「御殿場線19駅ウオーク」を計画した。

御殿場線は建設当初、東海道本線として複線化されていたが、丹那トンネルの開通により御殿場線と名称を変え、1944年に単線化された。そんな御殿場線19駅を国府津から沼津まで、5回（75キロ）に分けて踏破するウオークである。

第1ステージは12月14日。ぐっと気温が下がった午前7時に富士宮駅南口に着くと、もう会員があちこちに集まっている。寒い中でにぎやかにおしゃべり。「おはよう」「ご機嫌いかが」の声が響く。天気も申し分ない好天で、事項が発表される。車内ではいつものようにゲームが始まる。袋にペットボトルのキャップが4個入っていて「赤」を引き当てたらよいよウオーク開始。

2番目の下曽我駅までは川を挟んで右に左にと進み、桜並木の気持ちの良い「国府津・梅の里散策コース」を歩く。駅の隣にある梅の里センターでトイレ休憩。ここでサプライズ、「コロッケ」の差し入れ。温かい大きなコロッケに自然と笑みがこぼれる。

昼食場所の「みのり館」には午前11時40分到着。ここは2年前の「曽我梅林ウオーク」時にも昼食をとった場所である。仲間と語らいながらの昼食。風は少し冷たいがお日様もいっぱい、楽しさもいっぱいの幸せな時間を過ごす。人数を確認して午後の部を開始。

3番目の「上大井駅」の通過は午後0時57分。4番目の「相模金子駅」には同1時30分に到着。ここも無人駅で温かみがなく、雨よけの屋根左に川、右に森。カラスウリの赤い実がちらほら。疲れがたまって思わず歩数計を見る。18キロ。車は入れない歩行専用道路なので、道いっぱいに広がり思い切り列も延びて歩く。こんなぜいたくな歩き方も良いと思う。疲れもたまってくる。

午後3時30分、ゴールの「東山北駅」に着く。ほぼ予定通り。事故も無く楽しい一日が終わろうとしている。バスの中は暑く、上着を脱ぐ。お日様も最後の一番きれいな光を投げかけている。道の駅「ふじおやま」でトイレ休憩。高圧線の鉄塔越しの素晴らしい夕焼け。オレンジ、赤、ピンク、紫と変化する雲。一日の最後を飾るにふさわしい景色。次回、第2ステージもこの日のように楽しい一日になることを願いながら帰路に就く。

文・日向 治
写真・入野 徹

国府津駅をバックに記念撮影

スタート直後に里の道を歩く

下曽我駅の隣にある「梅の里センター」でコロッケを味わう

みのり館で昼食

松田駅前で記念写真を撮る参加者

上大井駅脇の道を行く

酒匂川沿いを歩く

ゴールの東山北駅でウオーキングサポーターのメンバー